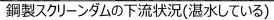
(3)-3 本流施設-施設上流の状況





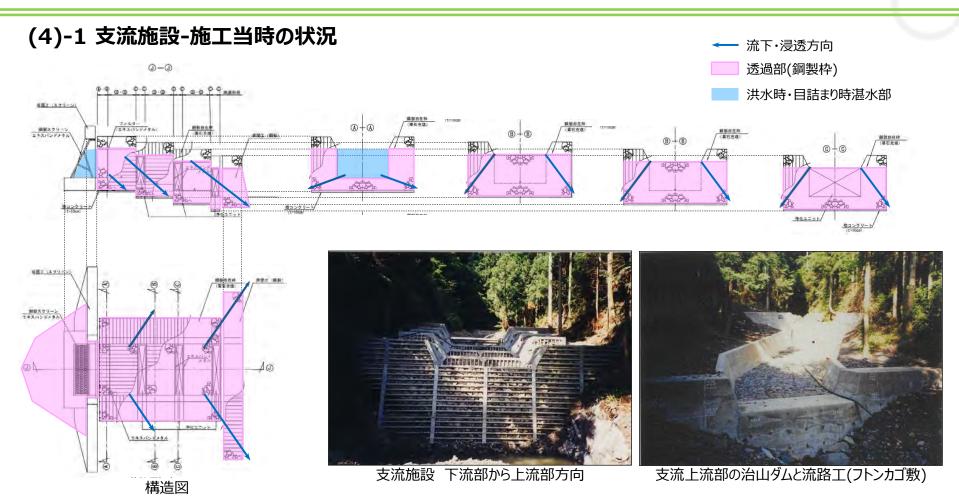


鋼製スクリーンダムの堆砂敷(表流水あり)



上流部の谷止工

鋼製スクリーンダムの堆砂敷は表流化しているが、スクリーン部で浸透し透過している。鋼製枠部も浸透し透過している。



2m間隔で0.5mの落差を階段状に配置し、渓床勾配に合わせ、渓流水をフィルターに透過させ浄化する構造。上流域の治山ダムと流路工によって、土砂流入が抑制されている。

(4)-2 本流施設-現地調査結果



支流下流部から上流部方向



鋼製枠を浸透して湧出した渓流水



鋼製枠の流路部(表流水はなし)



鋼製スクリーンダム直下の鋼製枠(表流水あり)



表流部の石礫閉塞状況



鋼製スクリーンダムのフィルター効果

水質保全施設の直下の床固工上流部から清水が湧出している。平水時は表流水が透過浸透し、表面部の石礫が閉塞するまで透過機能を 発揮している。

(4)-3 支流施設-施設上流の状況



鋼製スクリーンダムの堆砂敷(表流している)



治山ダム(流路工の下流末端)



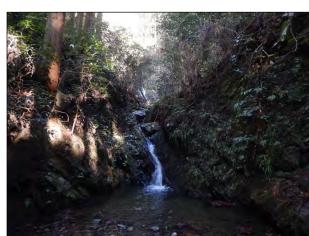
治山ダム(流路工の上流始端)



流路工のフトンカゴは破壊され右岸脚部を侵食



治山ダムの堆砂敷



堆砂敷上流の滝(岩樋)

粘土物質の少ない渓流域。上流2基の治山ダムと流路工が、下流の水質保全施設への土砂流下を抑制している。